

第7号

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK

2006年9月1日
相模原市ごみ減量推進課
TEL.042(769)8245
年1回発行

リサイクルポレズ

Recycle press

新たな資源回収スタート

平成18年10月以降 新たな資源回収を始めます!! (津久井町・相模湖町を除く)

ごみの減量化・資源化をより一層進めるため、「容器包装リサイクル法」に基づく新たな分別回収事業として、①ペットボトル、②プラスチック製容器包装、③紙製容器包装のごみ集積所からの回収を行います。分別排出のごみを協力をお願いいたします。

新たな資源の、分別のポイントは次のマークが目印です。



PET
ペットボトル



プラスチック製
容器包装



紙製容器包装

ペットボトル及びプラスチック製容器包装類は、**週一回新たに「容器包装プラスチックの日」を設け**、回収します。

(スーパー・コンビニ、公共施設などリサイクル協力店での回収も、従来どおり行います。)

出し方のルール



- ①ふたを外して、ラベルをはがす。
- ②軽く水洗いし、つぶしてください。



- ①中身は使い切る(食べきる)。
- ②汚れているものは、軽く水洗いするか拭き取ってください。
- ③ペットボトルとプラスチック製容器包装は、「透明または半透明の袋」で、それぞれ別々の袋に入れて出してください。

実施時期

ペットボトルとプラスチック製容器包装は、2段階での実施となります。



- 10月実施
橋本、大沢、小山、清新、横山、中央、星が丘、大野中、大野北 地区
- 12月以降実施
上溝、田名、光が丘、麻溝、大野南、東林、相模台、相武台、新磯 地区

その他の紙製容器包装類の分別回収については、既に実施している「資源の日」の紙類に追加し、回収します。

回収日は、排出方法のチラシをご覧ください。



シリーズ・環境教育⑥

ごみ分別ゲーム

えーと、かさは何ごみだったっけ?

ふと日常のごみの分別で迷ってしまうことはありませんか?

こうした悩みを解決し、ごみの分別意識をさらに高めようと、青山学院大学の松本研究室と協同で「ごみ分別ゲーム」を開発しました。

ゲーム感覚でごみの分別が身につきます。さて、あなたは制限時間内に何問正解できるでしょうか?

このゲームは、環境情報センター(富士見1-3-41 042-769-9248)の情報コーナーパソコンでご利用いただけます。是非チャレンジしてみてください!

「これできみも分別の達人だ!」



▲今回開発した「ごみ分別ゲーム」初級～上級まで楽しめます。

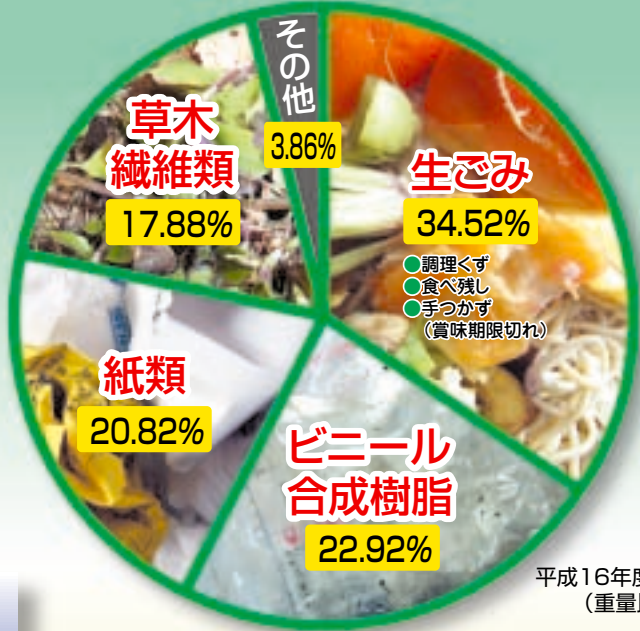


▲中央小学校での授業にて

やってみましょう! 生ごみリサイクル

家庭から出る一般ごみの約3分の1は生ごみです。(重量比)

ごみの減量化を進める上で、生ごみのリサイクルは大変重要な課題となります。環境負荷となるごみをできる限り減らし、貴重な資源を有効に活用するためにも、生ごみの減量化・リサイクルを進めましょう。



① 生ごみのもとを減らす

まずは、食べ残し、使い残しを減らしましょう。また、食料品の買いすぎにも注意！生ごみのもととなるものを買っていることになりかねません。



② 水気を切って捨てる

捨てる際には、十分に水気を切ってから捨てましょう。焼却効率が良くなり、焼却炉への負担が小さくなります。



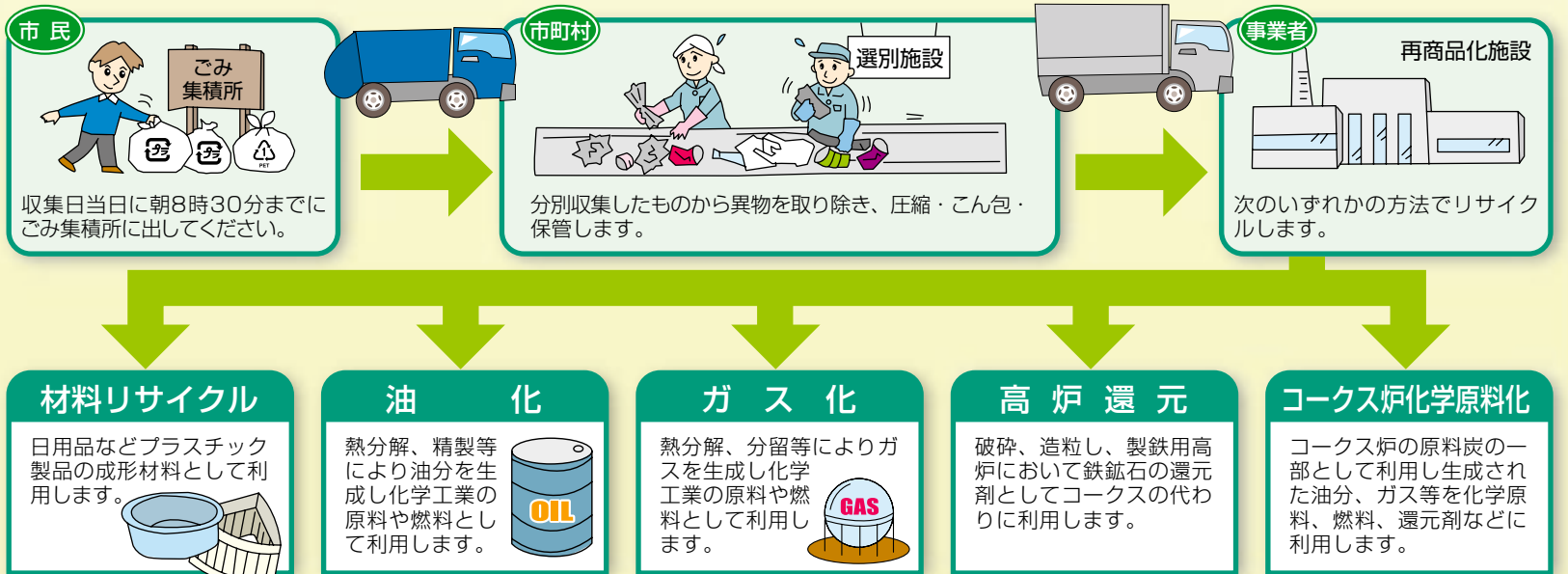
③ 生ごみをリサイクルしよう

- イ、コンポスト容器を使う。
土の中の微生物の活動をうまく利用して肥料にする方法です。
 - ロ、密閉容器を使う。
生ごみが分解しやすい環境を密閉容器の中に作り出し、家の中で気軽に行う方法です。
 - ハ、生ごみ処理機を使う。
電気で動かす機械で、短い日数で気軽に処理ができます。
 - ニ、ダンボール箱、発泡スチロール箱を使う。
腐葉土や米ぬかを使って、生ごみから肥料を作ります。
- イ～ハの購入には、市の助成制度があります。
(問い合わせ先 ごみ減量推進課 042-769-8245)



資源の行方へプラスチック製容器包装

10月以降始まる新たな資源回収。中でもプラスチック製容器包装は、材料や原料として再商品化されます。相模原市では容器包装リサイクル法により、市町村の役割となっている再商品化のための前処理(選別・圧縮・こん包・保管)を民間の中間処理工場に委託して実施します。リサイクルされるまでの流れを見てみましょう。



設置場所

橋本台リサイクルスクエア
下九沢2084-3 042-774-2050

環境情報センター
富士見1-3-41 042-769-9248

新磯野リサイクルスクエア
新磯野4-1-1 046-266-6731

各施設の開所時間に持ち込めます。

資源リサイクルステーションの設置

資源回収(びん・缶・紙・布・蛍光灯・油)は、週一回ごみ集積所より回収を行っています。しかし、引越時や一時大量の資源に困ったことはありませんか。

そこで、資源分別意識の啓発、資源排出利便性の向上を図り、ごみの減量化と資源化の促進を図ることを目的に、資源リサイクルステーションを設置しましたので、ご利用ください。

おもちゃの病院 さがみはら

あなたの大切なおもちゃ、これってそのままになっていませんか？
動かないといって捨ててしまおうと思っていませんか？
おもちゃの病院は、診療(修理)を通して子どもたち、おもちゃのドクターがふれあう中で、ものを大切にすることを子どもたちに伝えたいという思いから開設されました。

おもちゃの病院のドクターは地域のボランティアの方々で構成され、治療(修理)費は無料ですが、部品交換は実費になります。

お問い合わせ先
ごみ減量推進課
042-769-8245

場 日 毎月第一日曜日 午前10時～正午
場 所 橋本台リサイクルスクエア

おもちゃの診察を受ける子どもたち

おもちゃドクターの方々(ドクター募集中です)

